

陸上自衛隊高等工科学校

受 験 案 内



J G S D F H I G H



T E C H N I C A L



S C H O O L



日本の平和を守る。世界の平和に貢献する。
そのフィールドは幅広い。

成長できる舞台。

陸上自衛隊高等工科学校

※ 令和 10 年度から陸・海・空共同、男女共学の学校になります。



高等工科学校
【公式】YouTube





特徴.1

社会人として、先行き不透明な現代を生き抜く力を養う



特徴.2

最先端の科学技術につながる教育を受けられる



特徴.3

生涯の友と呼べる仲間ができる



特徴.4

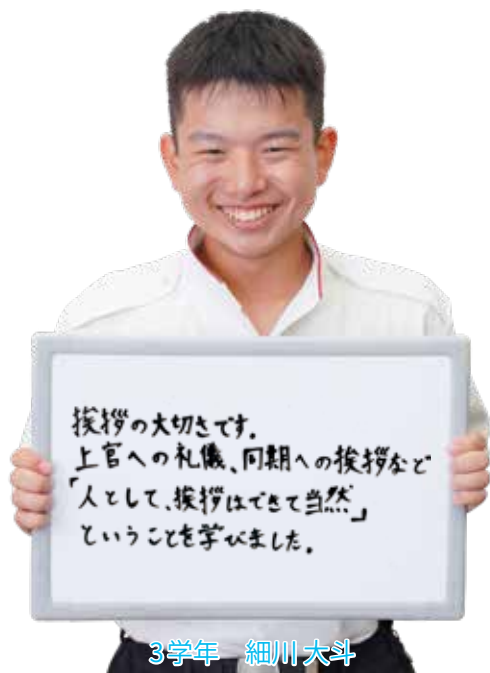
自己の可能性と多様性に富んだ将来を見つけ出せる



高等工科生徒VOICE

[Q.1]

社会人として生き抜くために身に付けている、学んでいることはありますか？



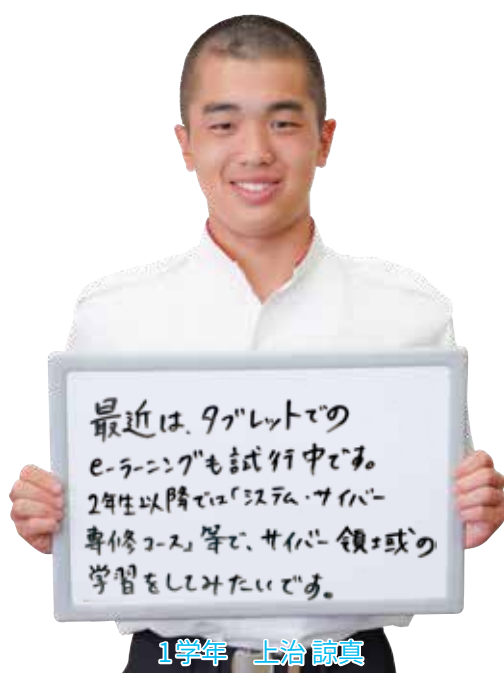
社会人として先行き不透明な現代を
生き抜く力を養う学校です



生徒は一般の普通科高校と同様の「一般教育」と、装備品の運用や整備に係る技術を身に付けるための「専門教育」を受けます。また同時に、身の回りのことを全て自分で行うこと、日々の規則正しい生活、仲間との共同作業やクラブ活動などを通じて自律心、コミュニケーション能力等、社会人として生き抜く力を身に付けていきます。

[Q.2]

最先端の科学技術につながる教育とはどのような内容ですか？



最先端の科学技術につながる教育を
受けられる学校です



技術陸曹を養成する本校では、最先端の科学技術の動向に適応した特別な教育カリキュラムを設定しています。3年生が履修するコース別教育では、令和3年度からシステム・サイバー専修コースを開設、令和5年度にはAI・ロボティクス専修コースを新設し、最先端の科学技術につながる教育を受けられるのは本校の特に大きな魅力です。

教育について

本校では、「明朗闊達」「質実剛健」「科学精神」という校風の下、高度な専門知識と逞しさを持つ人材を育成します。充実した学習環境と質の高い教育により、識能（スキル）と資質（マインド）を育てます。

充実した教育内容

普通科高校と同等の教育を行う「一般教育」、理工系の専門的な技術の教育を行う「専門教育」、陸上自衛官として必要な防衛教養や各種訓練を行う「防衛基礎学」を主たる教育として実施し、将来、生徒が多種多様な分野で活躍するための基礎を作ります。

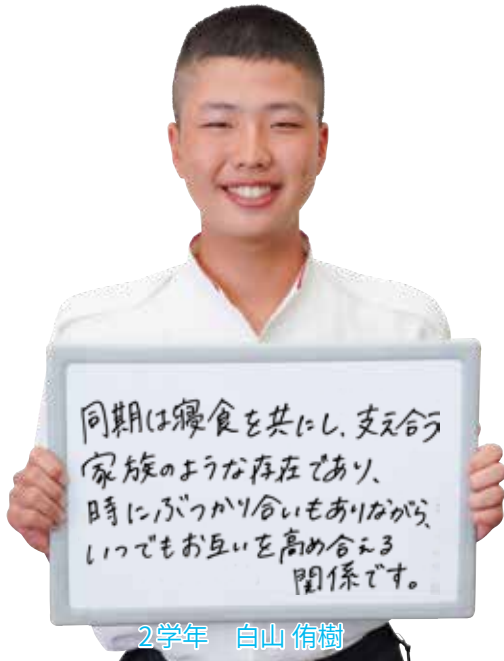
その他、クラブ活動や様々なイベントを通じて人格面での成長を促します。



陸上自衛隊高等工科学校の魅力とは？

[Q.3]

高等工科学校において、
仲間はどのような存在ですか？



2学年 白山侑樹

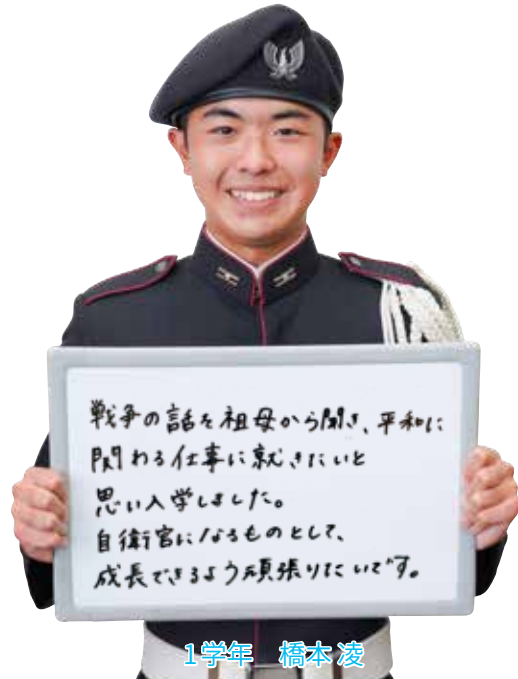
生涯の友と呼べる
仲間ができる学校です



中学を卒業したばかりで、あどけなく、不安を抱きながら全国から集まった生徒たちは、高等工科学校での生活を経て日に日に逞しくなり、3年間で大きな成長を遂げます。その最も大きな要因は、仲間、特に同期生の存在です。同じ教育や訓練に共に取り組んだ同期生は特別な存在となり、その絆は生涯にわたり続いていきます。

[Q.4]

日々の学びを通じて、
どのような目標を描いていますか？



1学年 橋本凌

自己の可能性と多様性に富んだ
将来を見つけ出せる学校です



人生で最も多くで本格的に自己を見つめ始めるこの時期に、多くの仲間と職員のフォローの下、たくさんの刺激を受け、自分の得意分野や進むべき将来を見出ししていきます。本校を卒業した先には、各装備品整備の専門家（技術陸曹）になる道、防衛大学校に進学する道など、多様性に富んだ進路が広がっています。

01 | 一般教育



在学中の3年間を通じ、高等学校学習指導要領に準拠した教育を受け、知識と教養を学びます。

02 | 専門教育



3学年時に、高機能化、システム化された最先端装備品を運用するために必要な理工系技術に関する内容を身に付けます。

03 | 防衛基礎学



陸上自衛官として必要な基本的なスキルやリーダーシップ等、小部隊を運用するための基礎を学びます。

その他

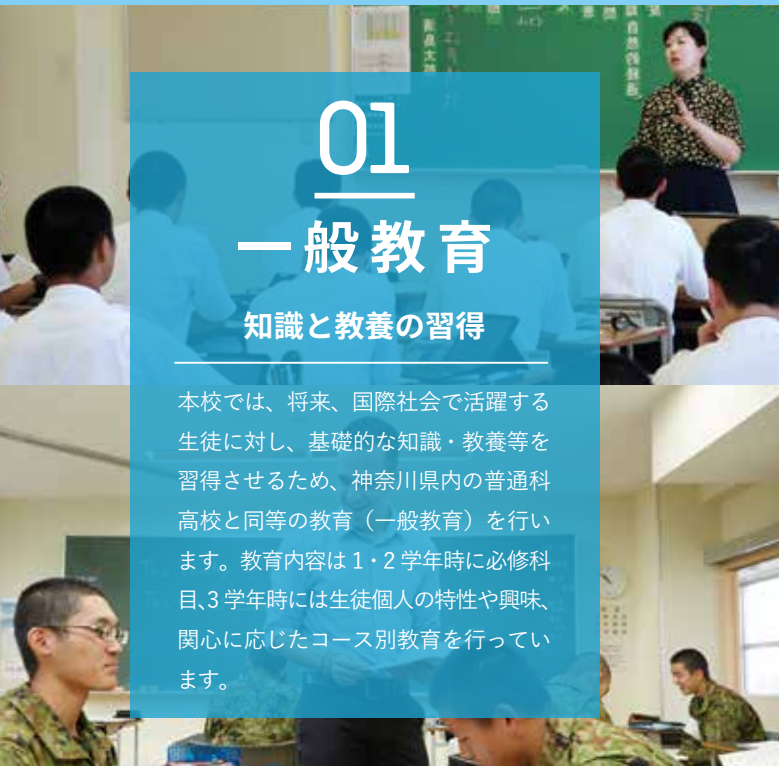


クラブ活動、生徒会活動及び各種行事等に参加し、体力、気力、自律心、チームワークを養いながら、献身や誠実といった情操を育みます。

01 一般教育

知識と教養の習得

本校では、将来、国際社会で活躍する生徒に対し、基礎的な知識・教養等を習得させるため、神奈川県内の普通科高校と同等の教育（一般教育）を行います。教育内容は1・2学年時に必修科目、3学年時には生徒個人の特性や興味、関心に応じたコース別教育を行っています。



一般教育カリキュラム

本校に入学する生徒が3年間に学習する科目です。授業時間以外には、希望者に対して防衛大学校や航空学生等の受験や各種検定等にチャレンジするサポートも行っています。

●生徒が主に受験する検定・資格試験等：英語検定／TOEIC Bridge／情報処理技術者試験（ITパスポート試験）等

教科	科目	必修科目 配当時間		選択科目 配当時間					
		1年次	2年次	共通教育	3年次				
					専修コース別教育				
					教養専修	理数専修	国際専修	システム・サイバー専修	AI・ロボティクス専修
国語	現代の国語	2							
	言語文化	2							
	文学国語		4						
	論理国語①			2					
	論理国語②				2				
社会	地理総合			2					
	歴史総合	2							
	日本史探究		2						
	世界史探究				3				
	公共	2							
	政治・経済					2			
数学	数学I	5							
	数学II		4						
	数学III					3		3	3
	数学A		2						
	数学演習				2				
理科	物理基礎	2							
	物理		3						
	化学基礎	2							
	化学		3						
	生物基礎	2							
	物理演習					2			2
	化学演習					2			
保健体育	体育	2	3	2					
	保健	1	1						
芸術（選択）	音楽・美術・書道	2							
英語	英語コミュニケーションI	4							
	英語コミュニケーションII		4						
	英語コミュニケーションIII			4					
	論理・表現I		2						
	論理・表現II					5			
家庭	家庭基礎	2							
情報	情報I		3						
工業	電気回路			2					
	サイバー基礎						4		
	AI・ロボティクス基礎							3	
	総合的な探究の時間	2	1						
合計		32	32	12	7	7	7	7	8

横浜修徳館高等学校認定 76 単位（一般教育 74 + 技能連携 2）

学校設置科目単位 7 単位

コース別教育（3 学年）



高等工科大学
【公式】YouTube
授業の様子

3 学年になると必修科目に加えて、生徒はそれぞれの特性や興味、関心に応じて「教養専修コース」「理数専修コース」「国際専修コース」「システム・サイバー専修コース」、令和 5 年度より新設された「AI・ロボティクス専修コース」の 5 つのコースから 1 つを選択し履修します。

01 教養専修コース

幅広い知識や教養を身に付け、問題の本質を理解する能力、研究分析する能力、創造的に思考する能力を育成します。文系、理系の枠にとらわれず、3 年間で一般高校の生徒と同等以上の内容を学習します。

重点教育科目

論理国語②
世界史探究
数学演習



02 理数専修コース

科学的に探究する能力及び態度を育て、課題を自ら科学的に解決していく力を養成します。3 年間で一般高校の理系生徒と同等以上の数学・理科の内容を学習します。

重点教育科目

数学Ⅲ
物理演習
化学演習



03 国際専修コース

将来の国際人として必要な語学力、コミュニケーション能力、論理的思考力の基礎を身に付けるとともに、諸外国の文化を理解し尊重する態度の育成を目指します。

重点教育科目

政治経済
英語論理表現Ⅱ



04 システム・サイバー専修コース

プログラミングやシステムオペレーションの基礎を養成し、発展的な数学に関する知識を学ぶことで、将来のシステム・サイバー業務に携わる基礎力を養成します。

重点教育科目

数学Ⅲ
サイバー基礎
(プログラミング・
OS・データベース)



05 AI・ロボティクス専修コース

AI・ロボティクスに関する技術の基礎的事項及び数学・理科に関する知識を習得し、将来のシステム開発・装備品開発業務に従事し得る能力を育成します。

重点教育科目

数学Ⅲ
物理演習
AI・ロボティクス基礎



02

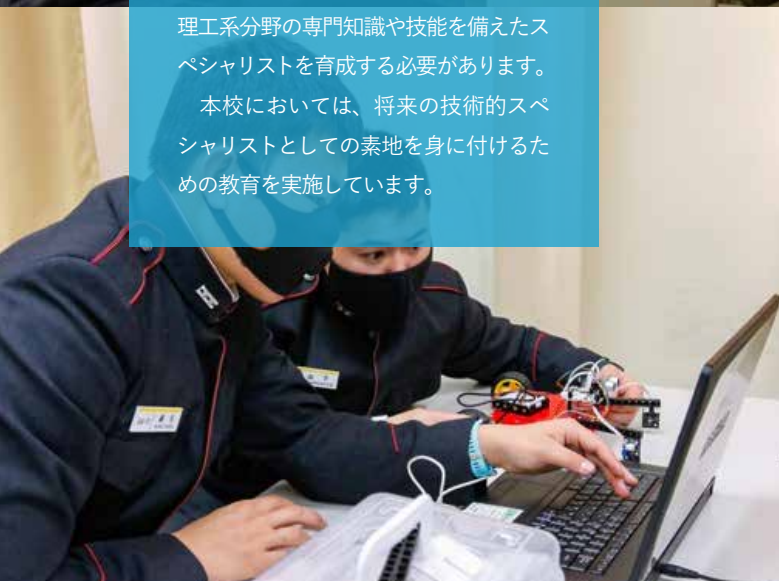
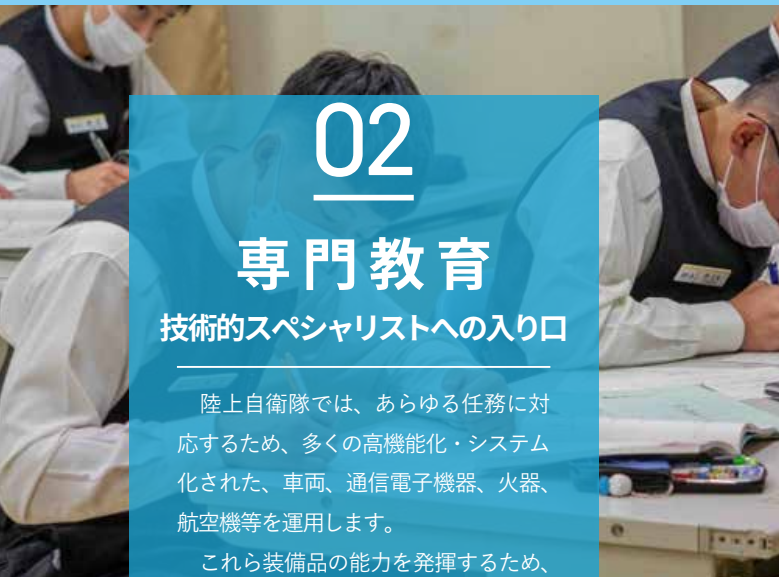
専門教育

技術的スペシャリストへの入り口

陸上自衛隊では、あらゆる任務に対応するため、多くの高機能化・システム化された、車両、通信電子機器、火器、航空機等を運用します。

これら装備品の能力を発揮するため、理工系分野の専門知識や技能を備えたスペシャリストを育成する必要があります。

本校においては、将来の技術的スペシャリストとしての素地を身に付けるための教育を実施しています。



科目	小科目	教育内容	教育時間
電子機械工学	電子工学基礎	直流回路、磁気と静電気及び交流回路の基礎的事項	261h
	システム技術	電子回路素子、増幅回路基礎、各種増幅回路及び各種電子回路の基礎的事項	
	伝送技術	有線通信及び電波とアンテナの基礎的事項	
	メカトロ技術	機械材料、油圧回路、コンピュータ制御とプログラミング及びコンピュータの制御要領の基礎的事項	
情報工学	情報基礎	コンピュータリテラシーに必要なコンピュータの基礎及びハード・ソフトウェア技術の概要	143h
	ネットワーク基礎	ネットワークの機能・種類、構成に必要な技術及び小規模な LAN の構成要領	
	情報セキュリティ	ネットワークの維持運営上必要なセキュリティに関する技術及び関係法規の概要	
総合実習等	総合実習	総合実習発表会	16h
	研修	防衛産業現地訓練	
合計			420h

01 電子機械工学

高機能化された装備品に使われている基本的な技術、特に電気に関する技術と電気通信・電子回路の基礎、機械技術及び電子機械（メカトロ）に関する基礎的な知識と技術を総合的に学びます。

知識を覚えるだけでなく、自ら判断する力を身に付けるために、事象（結果）から原理（理論）を学ぶ、実証型教育を行います。



電子回路構成実習

02 情報工学

現代の装備品はシステム化されているため、情報通信機器によってネットワークを構成してその能力を発揮します。現代社会において必須の電子情報技術、ネットワーク技術及び情報セキュリティに関する基礎的な知識と技術を総合的に学び、簡単なネットワークの構成を習得します。



ネットワーク構成実習

03 総合実習等

専門教育の集大成として自律型ロボットを制作します。基礎的な技術を学ぶだけでなく、技術者に必要なセンス（論理的な思考力・創造力、発想を現実化する実現力等）を身に付けます。将来の技術分野におけるスペシャリストを目指すための教育です。



総合実習発表会



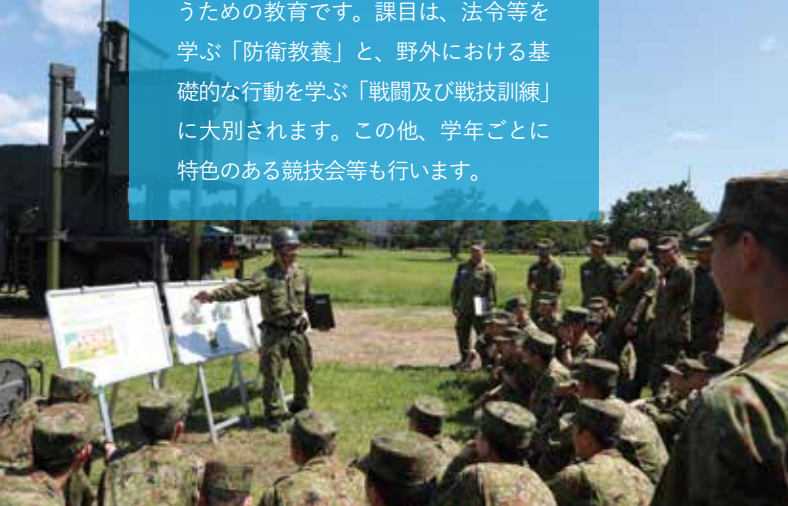
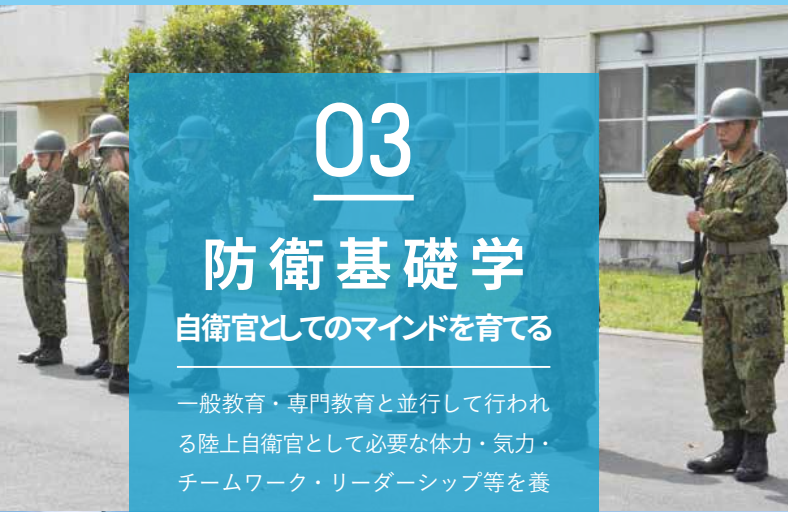
自律型ロボット制作（テスト走行）

03

防衛基礎学

自衛官としてのマインドを育てる

一般教育・専門教育と並行して行われる陸上自衛官として必要な体力・気力・チームワーク・リーダーシップ等を養うための教育です。課題は、法令等を学ぶ「防衛教養」と、野外における基礎的な行動を学ぶ「戦闘及び戦技訓練」に大別されます。この他、学年ごとに特色のある競技会等も行います。



1 学年は、自衛官としての基礎（サービス教育・基本教練等）を重視して教育を行います。また、2 学年では1 学年より多くの時間を配当し、防衛法制の教育、小銃の射撃及び駐屯地内での戦闘訓練を実施します。更に3 学年においては演習場において総合的な戦闘訓練・野外勤務訓練等を行う等、1 学年から3 学年にかけて段階的に教育訓練を実施して陸曹候補者としての素地を作ります。



高等工科学校
【公式】YouTube
訓練紹介



行進訓練



航空機体験搭乗



富士野営訓練



野外訓練



水泳訓練



持続走大会

一人ひとりの社会性と個性を伸ばす

部活動 (クラブ活動)

クラブ活動により体力、気力だけでなく、自律心、チームワークといった人間性を育成します。また、生徒一人ひとりの個性を伸ばすことも目的としています。いずれのクラブも活発であり、特に体育クラブは各種大会に出場し、好成績を収めています。IT 関連技能の取得を目的とした e スポーツクラブもあります。

特定クラブ

吹奏楽／ドリル／和太鼓

体育クラブ

剣道／柔道／銃剣道／空手道／少林寺拳法／アーチェリー／陸上競技／水泳／野球（軟式）／卓球／ハンドボール／バスケットボール／バレーボール／ラグビー／サッカー／ソフトテニス／レスリング／カヌー／ワンダーフォーゲル

文化クラブ

軽音楽／茶道／吟詠剣詩舞／広報・写真／弁論／英会話／書道／美術／防衛（軍事）研究／鉄道研究／囲碁将棋／科学／eスポーツ



高等工科学校
【公式】HP
部活動案内



和太鼓部



吹奏楽部



ドリル部



野球部



サッカー部



ワンダーフォーゲル部



レスリング部



カヌー部



eスポーツ部

【部活動の主要な成績】

- ・カヌー部：全国高等学校総合体育大会カヌー競技第2位（カナディアンペア）、関東高等学校カヌー大会兼関東高等学校カヌー選手権大会優勝（カナディアンペア、カヤックフォア）
 - ・レスリング部：全国高等学校総合体育大会県予選最高位2位
 - ・柔道部：全国高等学校定時制通信制体育大会団体の部優勝、個人の部優勝（90kg級）
 - ・剣道部：全国高等学校定時制通信制体育大会優勝
 - ・銃剣道部：全国高校生銃剣道大会団体戦第3位
 - ・バレーボール部：全国高等学校定時制通信制体育大会優勝
 - ・ソフトテニス部：全国高等学校定時制通信制体育大会団体優勝
- その他、和太鼓部、美術部、弁論部、茶道部、吟詠剣詩舞部が全国大会等で活躍しています。
令和7年度における全日制県大会以上の主要成績、定通制全国大会での主要成績

奉仕の心を育てる

ボランティア活動

本校の生徒は、高校生という立場であり、かつ「特別職国家公務員」という身分でもあります。そして生徒たちは近い将来、国民に奉仕する「陸上自衛官」としての崇高な使命を負うこととなります。このため生徒に、ボランティア活動を通じた情操教育を行うことで、献身・誠実（奉仕する心）を養います。



海岸清掃

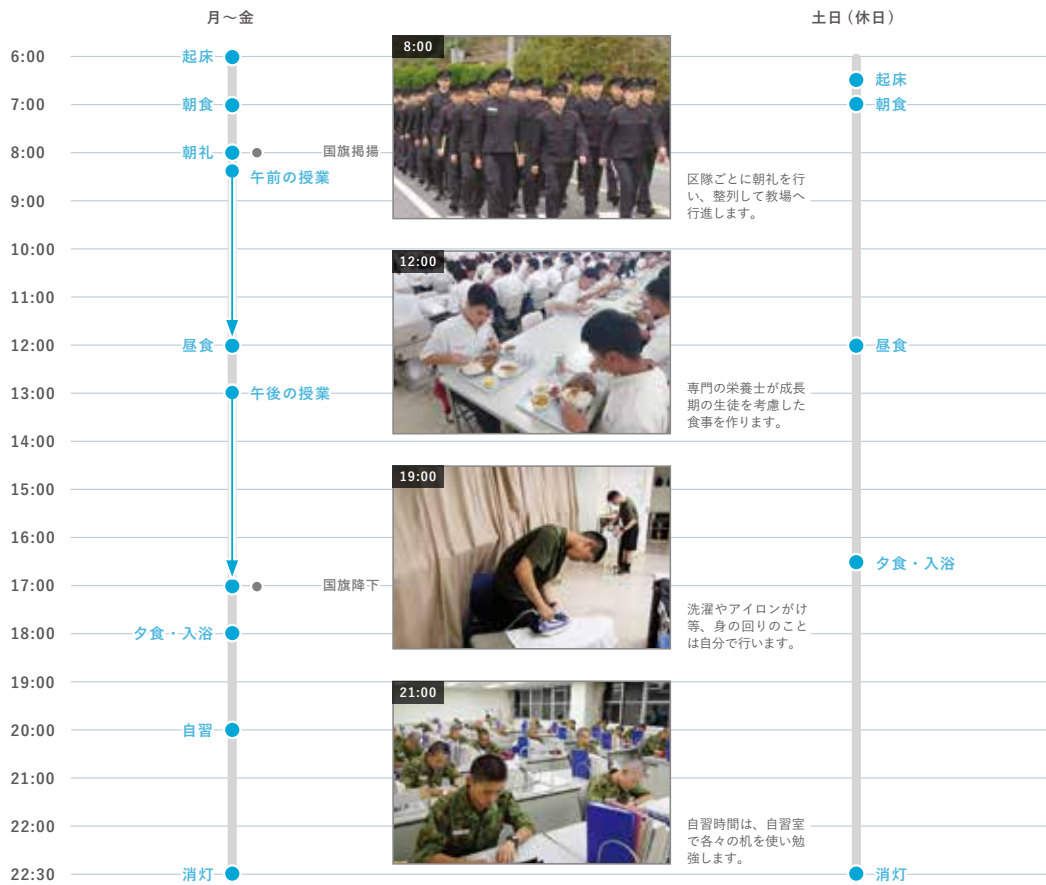
>>> SCHOOL LIFE

生徒の 1DAY SCHEDULE



高等工科学校
【公式】YouTube
生徒の一日

生徒は入学と同時に、全員校内の生徒舎（寮）で日課時限に従って団体生活を送ります。
休日は、外出することもできます。



Pickup! 寮生活

2学年 喜多和晴



規則正しい生活リズムと、
整理整頓が身に付きます！

※ 学年は、取材当時のものです。

仲間とのひととき



自由時間は読書や靴磨き、仲間たちと筋トレをすることも。

衣食住が整った寮生活



全寮制で、学年ごとに一部屋8人ほどの相部屋で生活します。

楽しみの一つはテレビ鑑賞



各部屋に1台、テレビがあります。みんなで観る時間はリラックスタイムです。

日々のベッドメイク



慣れるまでは大変なこともありますが、先輩たちが教えてくれます。

洗濯なども自分たちで



寮での暮らしを始めてから、親のありがたさに気づいたという生徒も多いです。



高等工科学校
【公式】HP
施設紹介

年間行事



高等工科学校
【公式】YouTube

年間を通じて行われる様々な行事には、生徒全員が参加します。多彩な行事は知徳体を伸展させるとともに同期の絆を育て、学校生活をいっそう豊かなものにします。夏期休暇、年末年始休暇の際には帰省を奨励しています。

月	行事内容	1 学年	2 学年	3 学年	
4	上旬 銃貸与式 (写真①)		●		
	入校式 (写真②)	★			
	中旬 ボランティア活動 (写真③)		●	●	
	下旬 新入生歓迎行事	★	★	★	
5	中旬 ヘリコプター搭乗研修 (写真④)	★	●		
	下旬 富士総合火力演習研修		●		
6	上旬 職種学校現地研修 (写真⑤)			●	
	下旬 前期中間試験	●	●	●	
7	上旬 富士野営訓練 (写真⑥)			★	
	下旬 水泳訓練 (校内) (写真⑦)		★		
8	夏季休暇	●	●	●	
9	中旬 前期末試験	●	●	●	
10	上旬 学校創立記念行事 (開校祭) (写真⑨)	★	★	★	
	中旬 射撃訓練 (写真⑧)		●	●	
	下旬	横浜修悠館高校文化祭		●	
		体育大会	●	●	●
TOEIC Bridge 試験			●		
11	近畿現地研修 (史跡等研修) (写真⑩)		★		
	上旬	地域貢献デー (ボランティア活動)	●		
		鎌倉現地研修	●		
	戦史現地研修	★			
12	上旬 後期中間試験	●	●	●	
	8の字走大会 (写真⑪)	★			
	中旬	駅伝走競技会 (持続走大会)		★	
	銃剣道大会 (写真⑫)			★	
年末年始休暇	●	●	●		
1	中旬 体力検定	●	●	●	
2	中旬 後期末試験	●	●	●	
3	上旬 総合実習発表会 (写真⑬)			●	
	中旬 卒業式 (写真⑭)			★	



※ ☆印のものは YouTube があります。行事については変更になる場合があります。

在校生の声

先輩である在校生に高等工科学校で学べることや魅力について教えてもらいました。

※肩書は取材当時の情報です。

自分の成長を体感。 多彩な将来像が描けます。

厳しい環境で過ごしたほうが成長できるのではないかと考えたことと、学費がかからないため家計の負担を軽減できると思ったことが志望動機です。父子家庭ということもあり、父も初めは「無理はするなよ」と心配していましたが、普通の学校では経験できないような体験や、入学してよかったこと等を伝えているうちに安心し、応援してくれるようになりました。目指すは自衛官ですが、同じ自衛官でも自分に合った職種を選ぶことができるということを実験方から聞き、将来の可能性や進路の幅を感じています。少しでも興味があるのであれば、受験をおすすめします。

1学年 長谷川 智紀



小さな努力の積み重ねが、 大きな目標達成につながると思います。

はじめは全寮制での共同生活を不安に思うかと思いますが、苦楽を共にする仲間たちですので、入学して1ヵ月くらいで距離感も掴め、仲良くなれると思います。1学年では持っていないスマートフォンも2学年になれば使用可能になりますので、まずは1年間、頑張ってください。体力面に不安があっても、訓練や仲間同士での筋トレをしているうちに自然と身に付いていきます。自衛官になり何をやるかの大きな目標と目的を持ち、そのために小さな目標を一つ一つ達成していく。そのような努力ができれば自ずと成長できると思います。

※ 現在、スマートフォンは入校から約1ヶ月後、使用が随時許可されます。

2学年 山田 将士

自衛官である父の姿と 国を守る使命の崇高さに憧れて入学。

父が自衛官なので、幼少期から自衛隊の方々と接する機会が多く、仕事の素晴らしさを間近で感じていました。将来は、サイバー防護分野でのスペシャリストになることを目指しているため、システム・サイバー専修コースで学んでいます。C言語を使ったプログラミングなど専門的な授業もあり、とても良い環境で学習ができています。入学時は体力面で不安もありましたが、毎日のトレーニング等の積み重ねで少しずつ向上し、今では同級生に負けないくらいの体力がついたことを実感しています。訓練や集団生活の中でも人をいたわる行動ができるようになり、自分自身でも成長を感じます。

3学年 小松原 光汰



>>> FAMILY VOICE

Messages
from Family

先輩保護者よりメッセージ



いつも帰省のたびに、
息子の成長を感じます。

3学年 細川大斗 生徒保護者

Q. お子さんが入学して良かったと感じたことは？

長女が自衛隊に入隊していたこともあり興味があったようです。

ただ、私も息子も高等工科大学があることは知らず、地方協力本部にある同校のパンフレットを見て初めて知りました。息子の中学校からの受験は初めてのケースだったため手続きが大変でしたが、無事合格。15歳で親元を離れることに「少し早いかな」という思いもありましたが、帰省した際に本当に良い意味で顔つきが変わっていたんですね。姉も「かっこよくなったね」と言うくらい成長を感じ、息子が入学して本当に良かったと思いました。



親の気持ちも大切だけど、
子どもの「人生」を優先に。

2学年 山田将士 生徒保護者

Q. 入学を考えている保護者の方へ先輩としてのアドバイスは？

父が自衛官ということもあり、息子はかなり早いタイミングから高等工科大学への入学を志望していました。勉強や運動能力面での心配がありましたが、本人は「父を超えるような自衛官になる」という強い目標を掲げていました。息子は熱量が高く、むしろ私の方が大丈夫かなと思ってしまいましたが、子どもの人生は子ども自身のもの。親がどうこうしたいというよりは、子どもたちが望む人生をサポートしてあげる、そういう気持ちが必要なんじゃないかと思います。



「自衛官になりたい！」
その目標を応援します。

1学年 上治 諒真 生徒保護者

Q. お子さんの成長を感じた瞬間を教えてください。

中学時代はラグビー一筋だった息子が、3学年になり「将来、自衛官になりたい」という目標を伝えてくれました。主人が航空自衛隊員ですので、どのように生活を送るかは理解していましたが、防衛大学校からのスタートでも良いのでは？とも思いました。でも、息子の意志は強く、私も応援しようと決心。推薦試験では一度落ちたものの、そこでスイッチが入り、一般試験で無事合格。高等工科大学に進学してからは、今まで自分の感情を表に出すことがなかった息子に電話で「寂しい」と素直に言われた時に、「自分の気持ちを素直に伝えることができるようになったのかな」と息子の成長を感じました。

卒業後の進路

学びが拓く、将来の活躍のフィールド

本校卒業後、陸曹候補生課程を経て3等陸曹として各部隊へ配属されます。

部隊配属後は、主に技術分野のスペシャリストとして各整備部隊等で勤務するだけでなく、国際貢献への派遣機会など国内外で幅広く活躍します。

また、在学間に防衛大学校や航空学生を受験することも可能で、多数の本校卒業生が幹部自衛官やパイロットとして活躍しています。



(※)
准尉、曹、士の最上級となる役職で、部隊などの指揮官 (幹部) を直接補佐する立場。

これまでの防衛大学校等への合格実績

年度	防衛大学校学生			航空学生
	推薦	総合選抜	一般	
2018年	9名	4名	0名	17名
2019年	6名	2名	1名	6名
2020年	11名	6名	0名	20名
2021年	9名	3名	0名	15名
2022年	8名	4名	1名	17名
2023年	13名	7名	0名	11名
2024年	14名	5名	2名	12名
2025年	16名	5名	1名	10名

卒業生の声

卒業後は自分の専門を活かして
幅広い分野で活躍することができます。

本校では生徒一人一人の成長を支えるため、生徒ファーストの精神で、情熱と愛情をもって教育に取り組んでいます。自衛官を育成する前に、まずは立派な大人になれるよう、人間教育を重視しています。入校後は、特別職国家公務員として給料(手当)を受給しながら、自衛官となるために必要な教育や規則正しい集団生活を通じて、同期との絆を深めることができます。また今後はサイバーやAIといった、新しい領域での活躍も期待されており、一般高校にはない魅力が溢れています。本校での3年間は大変なことも多いですが、卒業時には、自身の大きな成長を実感するとともに、自信と誇りをもって自衛官になることができます。本校で得た仲間との絆は、今でも大きな財産です。

陸将補 篠村 和也 1985年卒



先輩である卒業生に高等工科学校で学べることや魅力について教えてもらいました。



「胸が震えた」卒業して分かった母校の魅力

高等工科学校(旧少年工科学校)の変わった校風に興味が湧き、最初に通っていた高校を中退。1年遅れで生徒32期生として入隊しました。当たり前のように日々の教育、訓練、部活動に明け暮れるうちに、あっという間に卒業し部隊配置。時は過ぎ、部隊で同校を卒業した数多くの先輩からアドバイスや激励を受けているうちに、自分がいかに多くの仲間を支えられてきたのかを身をもって感じ、改めて本当に素敵な3年間だったんだなあと感じています。また、それに伴って自身の成長もしみじみと感じられ、今でも当時のことを思い返すと胸が震える思いです。現在は北部方面隊の最先任上級曹長という、北海道の全陸曹・陸士のトップとして北部方面総監(陸将)に現場の准曹士の実情などを直接報告をする立場にあります。長年、陸曹として勤務してきましたが、今も諸先輩方からの数々の教を胸に、日々、精強な部隊の創造に励んでおります。准陸尉 高岡 幹夫 1989年卒

3年間で学んだチームワークの大切さは
今の仕事でも活かされています。

高等工科学校では、部活動や集団生活を通じて、たくさんの同期との絆を得ることができ、またチームワークの大切さも学びました。当時、防衛大学校に進学することを1つの目標としており、勉強で分からないところは、同期に教えてもらうなど協力してもらい、何とか防衛大学校に入学することができました。現在は、自衛官等の採用に携わる仕事をしておりますが、仕事は1人で完結できるものではなく、関係するたくさんの人と一緒に取り組むことが必要です。このため、高等工科学校で学んだ「チームで何かに取り組む」という姿勢は、今の仕事にも活かされていると感じています。

3等陸佐 岩崎 寛 2005年卒



※肩書は取材当時の情報です。

自分の経験を基に
生徒を様々な側面からフォローしています。

私は現在、班長として生徒の生活に密着し、社会人としてのマナーや体力向上に関する段階的な指導等、生徒の教育をフォローしていく役割を担っています。生徒たちは、様々なバックグラウンドを抱えて全国から集まっており、もちろん入学当初は合う人合わない人がいます。その中で共同生活をしていく必要があるため、職員たちは様々な側面から生徒をフォローしています。私自身も当校の卒業生ですので、当時を振り返り「もっとこういうことを教えてもらいたかった」と思うことを、先輩として伝えるようにしています。生徒の成長を見ることが出来る班長という役割にとってもやりがいを感じています。

1等陸曹 桐原 誠也 2008年卒

知りたい！

高等工科学校 Q & A

Q. 受験にあたって、特別な勉強は必要ですか？

必要ありません。 A.

一般の高校受験に則した問題が出題されますので、特別な勉強は必要ありません。なお、試験の過去問題は自衛官募集 HP に掲載しています。

Q. 私服は着用できますか？

基本は制服です。 A.

校内では支給される制服等を着用しますので、私服は普段の生活において着用することはありません。外出は原則制服ですが、2 学年から許可を得て私服を着用することができます。ただし、公務による外出については制服になります。

Q. 休暇はどれくらいとれますか？

夏休みと冬休み以外もあります。 A.

夏・冬季休暇ともに 20 日前後です。その他、春季休暇と GW の休暇が設定されています。

Q. 団体生活が不安です…。

徐々に仲間意識が芽生えていきます。 A.

みんなが初めての団体生活です。職員や先輩から教わりながら、協力して生活していく中で、自然と仲間意識が芽生えていきます。

Q. 行事が色々ありますが保護者は見に行けますか？

学校から案内が届きます。 A.

保護者の皆様には、是非行事を見ていただきたいと思えます。主要行事、ご覧いただきたい行事については学校からご案内いたします。また、その他の行事を見ていただくことも可能ですので、来校される前に所属先の職員にご連絡ください。

Q. 高等工科学校入試倍率を教えてください。

推薦と一般があります。 A.

令和 5 年度は、推薦試験が約 2.7 倍、一般試験が約 6.5 倍、令和 6 年度は、推薦試験が約 3.4 倍、一般試験が約 4.5 倍です。

Q. 携帯電話は使用できますか？

1 年目の最初は使用できません。 A.

携帯電話については、校内で携帯電話の不正利用に関する事故（不適切な SNS 使用等）防止のため、部内規則等の教育を行った後、使用を許可しています。

Q. 体力が心配です…。

徐々に身に付きます。 A.

入学後、段階的に基礎体力を向上させていくのでご安心ください。不安な方は、できる範囲でいいので、入学前に日々運動をする習慣を身に付けましょう。

Q. 家族との連絡手段は？

緊急時には職員を通じて連絡できます。 A.

平日は昼休みの時間、放課後（18:00～20:00）の時間、土日・休日は終日、携帯電話で連絡をすることができます。緊急の場合、授業中は職員を通じて、休日や夜間は当直を通じて連絡することができます。

Q. 受験や、学校見学はどうすればできますか？

地方協力本部へお問い合わせください。 A.

受験や学校の見学に関することは、各都道府県にあります自衛隊地方協力本部（地本）にお気軽にお問い合わせください。



高等工科学校
【公式】HP
Q&A

受験要項

受験種目	高等工科学校生徒 推薦	高等工科学校生徒 一般
応募資格	男子で中卒（見込合）17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を収め、学校長が推薦できる者	男子で中卒（見込合）17歳未満の者

※ 令和10年度から男女共学の学校になります。

処遇

※1 法律の改正等により改定される場合があります。

※2 在学中に防衛大学校や航空学生等自衛隊内の各種採用試験は受験可能ですが、一般大学の受験は許可されていません。

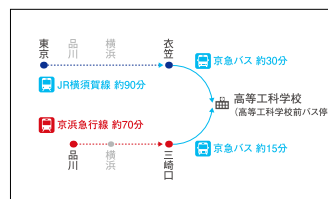
身分	特別職国家公務員（生徒）自衛官ではありません。	休日・休暇	週休2日制、年末年始休暇、特別休暇等
手当	生徒手当 月額 147,700円（令和8年1月現在）※1 諸手当 月額 約 19,000円（見込み（令和9年4月以降））※1	医療施設	自衛隊病院、駐屯地医務室においてほぼ無償で治療が受けられます。
期末手当	年2回（6月、12月：各月約258,000円）	福利厚生	防衛省共済組合による貯金事業／普通・定額積立・定期預金貸付事業／普通・特別・住宅・財形等をはじめとする、各種サービスが受けられます。
衣食住	全員が駐屯地で生活する。宿舎は無料、食事・被服類・寝具については、支給または貸与		
卒業資格	提携する通信制高等学校（神奈川県立横浜修悠館高等学校）との連携により、3学年修了時に高等学校の卒業資格を取得できます。※2		

交通アクセス

陸上自衛隊 高等工科学校 〒238-0317 神奈川県横須賀市御幸浜2番1号

電車をご利用の場合

JR横須賀線「衣笠駅」、もしくは京浜急行線「三崎口駅」より、京急バスにて「高等工科学校前」バス停で下車。



自動車をご利用の場合

「横浜横須賀道路」衣笠ICから「三浦縦貫道路」を利用し、林出入口で降り左折、約500m先の1つ目の信号で右折。



イベント情報

学校の雰囲気を体感してもらえよう、オープンスクールやオンライン上での説明会等を定期的に開催しています。詳細は時期が来ましたら陸上自衛隊高等工科学校公式 SNS や自衛隊地方協力本部 HP 等に掲載しますので、ご確認ください。



オープンスクール



オンライン説明会



開校祭での説明会

・お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ



自衛官募集
【公式】HP



最新の情報はこちら！
高等工科大学
X (Twitter)
@JGSDF HTS_pr